

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/02/08

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	35.62	0.04
JPY/THB	0.2403	-0.0001
USD/JPY	148.18	0.24
EUR/THB	38.36	0.09
EUR/USD	1.0772	0.0017
USD/CNH	7.213	0.011
SGD/THB	26.51	0.04
AUD/THB	23.22	0.01
USD/INR	82.97	-0.09
USD Index	104.06	-0.16

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.339	-0.028
10Y (THB)	2.623	-0.020
5Y (USD)	4.070	0.024
10Y (USD)	4.121	0.021

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,035.2	0.7
WTI (Oil)	73.86	0.55
Copper	8,312.0	-90.0

Stock

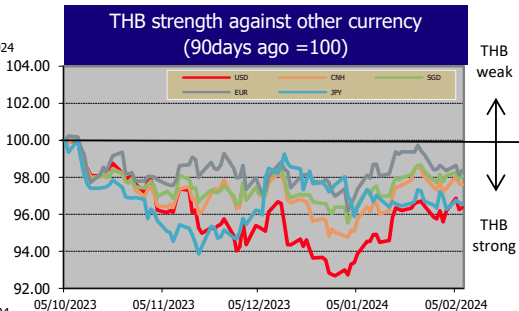
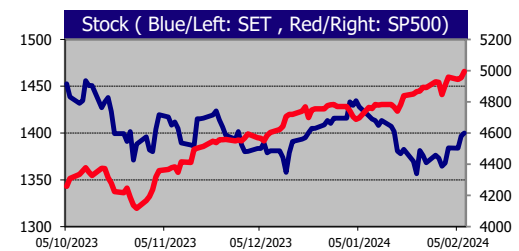
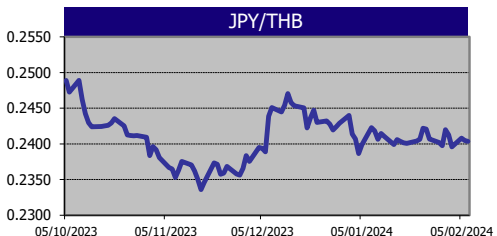
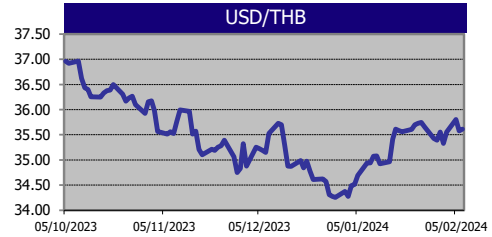
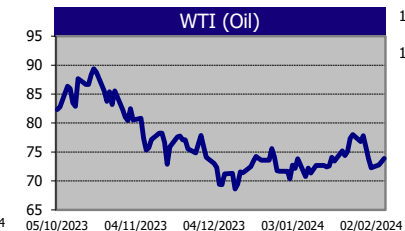
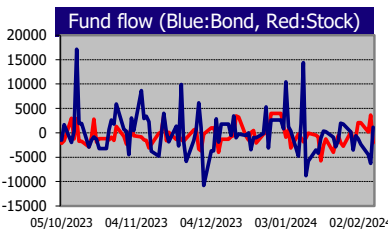
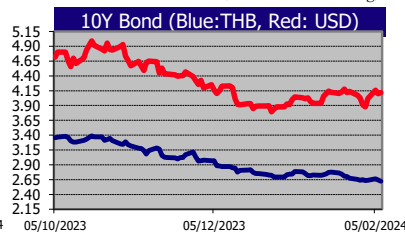
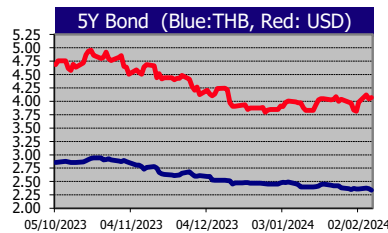
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,400.02	3.06
NIKKEI (JP)	36,119.92	-40.74
DOW (US)	38,677.36	156.00
S&P500 (US)	4,995.06	40.83
SHCOMP (CN)	2,829.70	40.21
DAX(GER)	16,921.96	-111.28

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(2,006)	-5619.6
Bond net flow	1,128	7407.1

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは僅かに上昇。35パーツ台半ば付近で取引を開始したドルパーツは、タイ中銀(BOT)による金融政策委員会(MPC)の結果公表を前に下落基調で推移。注目のMPCの結果は市場予想通り政策金利が据え置かれ、年始からの政府の金利引き下げ要請にBOTが抵抗する格好となったものの、MPCメンバー7人のうち、2人は0.25%の金利引き下げに投票していたことを受けてかドルパーツは上昇に転じ、往つてこいの展開に。海外時間に入り、Fed高官による米金融政策を巡る発言等の報道が見られたものの、ドルパーツ相場への影響は限定的なものの、終盤にかけて方向感に欠ける推移が継続しながら、結局35.62レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は僅かに上昇。147円台後半で取引を開始。特段目新しい材料に欠ける中、海外時間入りにかけてじりじりと上昇。一時148円台前半を付けるも、同水準では上値の重さも意識され147円台後半まで下落。ただ、その後コリンズ・ポストン連銀総裁による「利下げを支持するにはさらなるデータが必要」との発言を受け米金利が上昇に転じる中、ドル円も再び148円台前半まで戻し、そのまま148.18レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

昨日のMPCでタイ中銀は事前予想通り政策金利の据え置きを決定した。執拗に利下げを要請する政府に対してその独立性を示した恰好となり、2024年の経済成長見通しについても、前回11月会合時の予想3.2%から今回2.5-3.0%に下方修正こそしたものの、危機的な状況との政府の見方とは一線を画する認識を示した。声明文で気になったのは中国の成長鈍化がリスクとして挙げられていたことだ。観光収入含め外需の影響が大きいタイ経済の構造からすると、やはり中国の景気動向が重要なファクターということだろう。その中国については、今週6日に政府が新たな株価対策を打ち出し、低迷する株式市場の下支えに動いた。対策の内容は政府系ファンドによるETF購入や空売りへの新規規制、投資家に対する信用買いの支援。これらの発表を受け中国株は上昇、人民元は一時元高の動きを見せたが、以前も本欄記載の通り、投資家が期待しているのは不動産不況への根本的な対策である。株式市場への介入的な動きだけでは、景気浮揚の道筋はなかなか見えてこない。足許市場では米利下げ時期を探る材料として来週13日の米CPIに注目が集まっているが、本日発表される中国のCPI・PPIも同国のデフレ状況の深刻さ及びタイ経済の行方を占う上で注目していきたい。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.